

行政委員会事務局長マニフェスト（評価及び検証）

重点課題 ①

難易度

自己評価

遊休農地の発生防止と解消



（評価検証）平成 27 年 12 月 31 日

（最終検証）平成 28 年 3 月 25 日

★何を指すのか、目指すべき方向は？

戦略課題の目標

遊休農地の発生を未然に防止するとともに遊休化している農地の適正利用を図ることにより、農地の保全と地域農業の振興に努めます。

セルフレビュー（自己点検）

農業従事者の高齢化や農地を受ける担い手の減少などにより荒廃した農地が増加しています。

これらの遊休農地は、農業の衰退だけではなく周辺環境への悪影響も大きいことから、農業委員会といたしましては、現地調査を行い、遊休農地あるいは遊休化の恐れのある農地については、農地所有者に対する農地利用に関する意向調査を行った後、適切な是正対策に取り組み、遊休農地の再生利用を図ってまいりたいと考えています。

★その実現に向けて、今年度は何をするのか？

施策推進上の目標

- 1 遊休農地の把握に努めます。
- 2 遊休農地の土地所有者等への今後の活用に関する意向確認及び指導を行います。

(最終検証) 平成28年3月25日

取組結果・実施状況

- 1 農業委員会委員による農地パトロールを市内全域で実施しました。
 - 時期 平成27年10月26日～11月16日
 - 方法 市内全域を10か所に区分し、各委員の担当地区において、農地地図を基に目視により確認しました。
- 2 全ての農地所有者等に対し、今後の農地利用に関する意向確認を文書により行いました。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトプット

11月を農地パトロール月間と定め、市内全域を対象に農地パトロールを実施します。

(最終検証) 平成28年3月25日

取組結果・実施状況

1 農地パトロールの結果

- 遊休化の恐れのある農地 36筆 13,738㎡
- 遊休農地 44筆 15,718㎡

※ 前年度の状況

- 遊休化の恐れのある農地 47筆 18,161㎡
- 遊休農地 49筆 17,886㎡

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

アウトカム

食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図ります。

(最終検証) 平成28年3月25日

取組結果・実施状況

1 前年度との比較

- 遊休化の恐れのある農地 11筆 4,423㎡の減
- 遊休農地 5筆 2,168㎡の減

(上記比較の内訳)

- 指導により改善した農地 11筆 3,911㎡
- 転用した農地 5筆 2,680㎡

(評価日) 平成28年2月5日

市長評価

(C) 期待 : 一定の目標は達成できたが、もうひと頑張り。今後に期待する。

市長のコメント

- ・ 今後も農地の状況把握をしっかり行い、遊休農地の発生を未然に防ぐように努めること。

(最終検証) 平成28年3月25日

今後の取組の方向性など

遊休農地の解消については、一朝一夕に解決できる問題ではありません。したがって、今後も遊休農地等の実態把握に努めるとともに、今回の農地パトロールにより判明した遊休農地等については、意向確認調査を基に解消指導と発生防止に取り組んでまいります。